

1. 東濃地域の取り組みについて

○概要 R 6 年度の調査結果に基づき、本年度は東濃 5 市及び下呂市によるコンソーシアムを編成して事業を実施する。

○経緯 コンソーシアムを締結することにより、全体事業費の大幅な抑制、事業実施の効率化、予約アプリ・監視システムの共同開発利用、実証・調査結果の情報共有、地域公共交通の課題解決に向けた連携、各市事務手続きの負担軽減、リニア開業に向けた機運の醸成など、様々なメリットがある。また、自動運転事業において市域をまたぐ広域コンソーシアム締結は、全国でも初の試みとなる。代表市は恵那市。

○経過

・ R6. 2. 8	「東濃地域自動運転特区推進プロジェクトチーム」発足 (構成メンバー：副知事、6 市首長他)
・ R6 年度	岐阜県自動運転社会実装推進調査業務実施 (岐阜県、多治見市、瑞浪市、恵那市、土岐市、下呂市) (※中津川市は個別に申請)
・ R6. 11. 23	恵那市自動運転 E V バス体験試乗会実施
・ R7. 4. 11	「東濃地域自動運転推進協議会」発足 (構成メンバー：6 市担当課長、岐阜県は顧問)
・ R7. 4 月	コンソーシアム共同事業者のプロポーザル実施
・ R7. 5. 8	「東濃地域自動運転推進コンソーシアム」協定締結 (恵那市、多治見市、中津川市、瑞浪市、土岐市、下呂市、N T T 西日本 岐阜支店)
・ R7. 5. 12	国交省補助金応募申請

○今後

・ R7. 6 月	国交省補助金内示予定
・ R7. 7. 14	「東濃地域自動運転推進コンソーシアム」協定締結披露式 (予定)
・ R7. 7 月	第 1 回地域コミッティ開催予定
・ R7. 7 月～	実証運行に向けた調整準備
・ R7. 9 月～	実証運行 (レベル 2)

2. 補助金について

○国交省補助金

地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (自動運転社会実装推進事業)

- ・ 重点支援事業 4 / 5 (補助上限 300, 000 千円) → 東濃地域申請
- ・ 一般支援事業 4 / 5 (補助上限 100, 000 千円)

3. 恵那市の実証実験(レベル2)について

運行ルート	運行日数	予定車両
岩村駅→城下町→歴史資料館	約 2 週間	エヴォ

4. 車両イメージ



レベル4自動運転サービスに関する政府目標

政府目標は、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（2023年12月26日閣議決定）等において、2025年度目途に50カ所、2027年度まで100カ所の実現とされおり、国が主導する技術開発や各地域での実証実験が継続して取り組まれている。

